

令和 8 年度 沖縄県立北山高等学校																	年間指導計画表										科目名		現代の国語			2 単位											
																	学科	普通科・理数科	学年	1 学年	指導者氏名								校長			教頭											
目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。															教科書		第一学習社『高等学校 改訂版 標準現代の国語』																								
指導事項・言語活動例																	指導時数		4	4	5	6	6	7	9	9	10	10	11	11	12	12	1	1	2	2	3						総時数
																			月 単元名 （論理的な文章とはどんなものか）	（も論理的な文章とはどんなものか）	（筆者の主張を理解しよう）	（説明書や製品の取り扱い）	（身近な作品の取り扱い）	（情報を知りやすく説明しよう）	（筆者の主張を整理しよう）	（合意を形成するための話し合い）	（合意を形成するための話し合い）	（論点を共有しながら話し合い）	（内容を理解し口頭での発表）	（情報の探索と選択）	（情報の信頼性や妥当性の吟味）	（情報の信頼性や妥当性の吟味）	（複数の文章を関連づける）	（法律の改正に関する文章）	（アイースター島になぜ森がないのか）	（自分の考えが伝わるように説明のしかたを工夫しよう）	（論理の展開を的確に捉え、要旨を把握しよう）	（地域の魅力や表現の工夫）	（文章の種類や表現の工夫）	（文章を読み、考えたこと）	（文章を読み、考えたこと）	（文章を読み、考えたこと）	
																	2	4	5	5	5	5	4	2	5	5	4	4	2	2	4	3	2	4	3						70		
〔知識及び技能〕	(1)	ア	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。	○																					○		○																
		イ	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。				○				◎										◎						○	◎															
		ウ	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。																				○	◎																			
		エ	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。				◎																		◎		◎																
		オ	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。			○																		◎	○																		
		カ	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。					○	○													◎																					
	(2)	ア	主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。	◎	◎		◎	◎				○	○	◎	○																												
		イ	個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。								◎				◎																												
		ウ	推論の仕方を理解し使うこと。																					◎																			
		エ	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。									◎	◎																														
		オ	引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。							○																																	
		(3)	ア	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めること。		○																																					
〔思考力、判断力、表現力等〕	A 話すこと・聞くこと	(1)	ア	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。						○								○							◎																		
			イ	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。																◎							○																
			ウ	話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。						○																◎	○																
			エ	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。		○			◎																																		
			オ	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。							◎																																
		(2)	ア	自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。						●										●																							
			イ	報告や連絡、案内などのために、資料に基づいて必要な事柄を話したり、それらを聞いて、質問したり批評したりする活動。																																							
			ウ	話合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録などを参考にしながら行う活動。							●																																
			エ	集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動。																						●																	
			他	上記以外の言語活動				●																																			
	B 書くこと	(1)	ア	目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。						◎								○																									
			イ	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫すること。														○		◎																							
			ウ	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。														◎							◎	○																	
			エ	目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。														◎																									
			ア	論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動。															●						●																		
		(2)	イ	読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする活動。				●																	●																		
			ウ	調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる活動。					●	●								●	●																								
			他	上記以外の言語活動																																							
	C 読むこと	(1)	ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。	◎	◎																	◎																				
			イ	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。								◎				◎					○																						
			ア	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする活動。	●							●				●																											
		(2)	イ	異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動。																																							
			他	上記以外の言語活動																																							
評価方法・評価材料			知 思 態	記述の点検 記述の確認 行動の確認	ペーパーテスト ペーパーテスト ワークシート	ワークシート レポートの記述 記述の確認	記述の点検 発表 発言	行動の観察 話し合いの内容 記述の分析	ペーパーテスト ワークシート	身についた知識・技能を使う場面 ワークシート 振り返りシート	身についた知識・技能を使う場面 ワークシート 振り返りシート	記述の点検 記述の分析 記述の確認	ペーパーテスト ワークシート	身についた知識・技能を使う場面 記述の分析 行動観察	記述の点検 記述の分析 記述の確認	行動の観察 ペーパーテスト ワークシート	ペーパーテスト ペーパーテスト ワークシート	身についた知識・技能を使う場面 スピーチの内容 構想シート	身についた知識・技能を使う場面 スピーチの内容 構想シート							合計	68																

令和 8 年度 沖縄県立北山高等学校

◎：当該単元で特に重点的に指導し評価する内容 ○：当該単元で指導し評価する内容
●：その単元で取り上げる言語活動例

言語文化	2 単位
------	------

[illegible]

『国語表現』 年間指導計画 【2 学年・3 学年普通科】

科目			単位数		指導学年		使用教科書						
国語表現			2 単位 (70時間× 2)		第 2 ・ 3 学年 普通科		大修館書店『国語表現』						
担当者													
科目の目標			国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		生徒の実態と指導の重点		2 年次より国語科内選択科目。少人数で手厚い指導を行いながら、文章力や表現力、思考力を伸ばしていけるよう指導する。						
学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標		評価規準例		評価方法等		
2 年次	1 学期	4 5	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う	レッスン 1 言葉と表記		3	【知・技】 (1)ア、ウ	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。		【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。		・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		レッスン 2 整った文を書く		2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B (1)オ	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。		【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。		・観察 ・ワークシート ・小テスト			
	2 学期	9 10		レッスン 3 相手に応じた言葉遣い		2	【知・技】 (1)イ、ウ	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。		【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。〔(1)イ〕 ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。		・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		11 12		レッスン 4 わかりやすい文を書く		2	【思・判・表】 B (1)オ、カ	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。		【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。〔B (1)オ〕 ・「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。		・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	3 学期	1 2		レッスン 5 文のつながり		2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B (1)カ	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。		【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつながりに着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。		・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		3		■実践トレーニング①		2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 B (1)カ	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。		【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元 1 のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。		・観察 ・ワークシート	
	3 学年			4	2 伝える、伝え合う	レッスン 1 自己紹介ゲーム	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1)ア・エ	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。		【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。		・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		5		レッスン2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】 「それでいいです」／意図理解の難しさ	1	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1)エ・カ	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6		レッスン3 絵や写真を見て書く	3	【思・判・表】 B (1)オ・カ	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	【知識・技能】 ・説明の順序や5 W 1 H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7		レッスン4 マイニュース記事を書こう	4	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B (1)ア	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	2 学期	9	3 小論文・レポート入門	レッスン1 小論文とは何か	3	【思・判・表】 B (1)ア・イ	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン2 反論を想定して書く	4	【思・判・表】 B (1)ア・イ・ウ	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】 「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	5	【思・判・表】 B (1)イ・ウ	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】 データを読む③／データを読む④	5	【思・判・表】 B (1)イ・エ	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン5 発想を広げて書く	4	【思・判・表】 B (1)ア・イ	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン6 レポートを書く	5	【思・判・表】 B (1)ア・オ B (2)イ	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン7 論文を書くために	2	【思・判・表】 B (1)ア・オ	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		10	4 自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて	1	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A (1)ア	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン2 効果的な自己PR	2	【思・判・表】 A (1)ア・ウ	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学 年	学 期	月	教科書単元名／教材名		時 間	学習指導要領 との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
				レッスン3 将来の自分を考えよう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に意欲的に取り組むことができる。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン4 志望理由を書こう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	3	【知・技】 (1) イ 【思・判・表】 B (1) ア・エ B (2) ア	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的に要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けられている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		11		レッスン6 面接にチャレンジ	2	【知・技】 (1) イ 【思・判・表】 A (1) ア・エ A (2) ア	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		12		レッスン7 グループディスカッションをしよう	2	【思・判・表】 A (1) カ・キ A (2) エ	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	【知識・技能】 ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けられている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。〔A (1) カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	3 学期	1 2		■実践トレーニング②	2	【知・技】 (1) イ・ウ 【思・判・表】 A (1) エ	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けられている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

(様式2)

[illegible]

『文学国語』年間指導計画【2 学年普通科・理数科】

科目	単位数	指導学年	使用教科書
文学国語	2 単位 (70時間× 2)	第2学年 普通科・理数科	大修館書店『新編 文学国語』
担当者			
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	生徒の実態と指導の重点	2 年次科目。読解力や理解力、思考力を高めていけるよう指導する。

学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
1	4	【1】 1 明日をひらく	そとみとなかみ	6	【知・技】 (1)ア (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を比較してとらえ、認識を深める。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		5 6	[書く]言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	4	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品
		古典の世界1	児の飴食ひたること	6	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・話のおもしろさと教訓をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	6 7	2 小説を楽しむ (一)	ナイン	8	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・場面の設定のしかたをとおして登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
2	9	3 詩を味わう	小景異情	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			永訣の朝	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	10	古典の世界2	月やあらぬ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	11	4 名作を読む	山月記	10	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	12	表現を味わう	[書く]思いを言葉に ①エッセイを書こう	6	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に合った内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品
3	1	5 社会に生きる	鞆	7	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)エ	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		2 古典の世界3	行く河の流れ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分の身の回りのできごとと比較しながら作者の考え方をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	3 読書の広場	鉄道員	4	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	

令和 8 年度 沖縄県立北山高等学校										年間指導計画表										科目名		論理国語		2 単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
										学科	普通科・理数科	学年	2学年	指導者氏名												校長			教頭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																		教科書		大修館書店『新編 論理国語』																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
指導事項・言語活動例		単元名		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2		3												総時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				どういふ理論の出会いがあるのか、人の心は水は路し	具体的で抽象的ではないメディアと物理的メディアの象	対比をとらえる「対話の精神」を「世界的地図」から見え	続ける「人々の自然なあり方」であり	文章の構成を磨き上げて書くこと	論理的に書く（小論文）を根拠をふまえて主張を書く	統計資料を活用する時代から「海外旅行離れ」は本当か？	比べる本はなくなるなら	比べる本はなくなるなら	レポートを書くよう	レポートを書くよう	レポートを書くよう	レポートを書くよう																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		指導時数		6	6	6	6	14		8	6	6	3	3	3	3											70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
〔知識及び技能〕	(1)	ア	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		イ	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		ウ	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○			○	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		エ	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。	◎	○	○	○	○	○		◎	○	○	○			○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		カ	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。			○	○	○	◎	○						○	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		キ	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。			◎	◎						○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	(2)	ア	推論の仕方について理解を深め使うこと。															○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		イ	新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。	○	○	○	○	○	○				○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ウ	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。									◎				◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		エ	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。															○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		カ	立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。									◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		キ	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。									◎						◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
〔思考力、判断力、表現力等〕	A 書くこと	オ	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。								○		◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		カ	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。															○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		キ	特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		ク	設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。								●	●	●			●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		ケ	社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		コ	設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。													●	●	●	●									30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B 読むこと	ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。	◎	◎	◎	◎	◎	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		イ	文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。					○				◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		ウ	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。	○	○	○	○	○	○			○	◎	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		エ	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		オ	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。									○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		カ	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。										○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価方法・評価材料	知 思 能 態	ア	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。	●	●						●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		イ	社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、その内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。				●	●	●		●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		ウ	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。				●	●					●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		エ	同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらと比較して論じたり批評したりする活動。										●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		オ	関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。			●			●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		オ																										40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
評価方法・評価材料				知	思	能	態	記述の点検	記述の点検	記述の点検	ペーパーテスト	記述の点検	ペーパーテスト	記述の点検	記述の点検	ペーパーテスト	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の点検	記述の

様式2

[illegible]

『文学国語』 年間指導計画 【3 学年普通科・理数科】

科目	単位数	指導学年	使用教科書
文学国語	2 単位 (70時間× 2)	第3学年 普通科・理数科	大修館書店『新編 文学国語』
担当者			
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	生徒の実態と指導の重点	読解力や理解力、思考力を高めていけるよう指導する。

学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
1	4	【Ⅰ】 1 明日をひらく	少なくとも最後まで歩かなかった	4	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
		5 6	[書く]言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	4	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
		古典の世界1	星取り	4	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・話のおもしろさをとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・笑話を読み、オチにつながる展開を的確に捉える中で、そのおもしろさについて考え、自らの学習を調整しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	6 7	2 小説を楽しむ (一)	晴れた空の下で	6	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ・語句のはたらきに注目して読む。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	2	9	3 詩を味わう	小景異情	4	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			永訣の朝	4	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	10	古典の世界2	月やあらぬ	8	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	11	4 名作を読む	山月記	10	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	12	表現を味わう	[書く]思いを言葉に ①エッセイを書こう	6	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
	3	1 5 社会に生きる	鮑	7	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)エ	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	2	古典の世界3	行く河の流れ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分の身の回りのできごとと比較しながら作者の考え方をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	3	読書の広場	鉄道員	6	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	

(様式2)

令和 8 年度 沖縄県立北山高等学校										年間指導計画表										◎：当該単元で特に重点的に指導し評価する内容 ○：当該単元で指導し評価する内容 ●：その単元で取り上げる言語活動例										科目名		論理国語				2 単位				
										学科	普通科・理数科		学年	3学年	指導者氏名										校長				教頭											
目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																		教科書		大修館書店『新編 論理国語』																		
月		単元名		4	5		6	7	9		10	11	12	1	2																総時数									
				『自己をみつめて探求する力』		『思考を深めるミロのヴィーナス』		『視点を変えて心の誕生の進化から考える』				『現代を考えることであること』		『未来に目をつなげてり』																										
指導事項・言語活動例		指導時数		13		16		16		14		11																		70										
〔知識及び技能〕	A書くこと	(1)	ア	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。																																				
			イ	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。																		○					○			○										
			ウ	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。																																				
			エ	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。																																				
		(2)	ア	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。																					○					○										
			イ	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。																												○								
			ウ	推論の仕方について理解を深め使うこと。																																				
			エ	新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。																																				
		B読むこと	(1)	ア	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。																																			
				イ	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。																																			
				ウ	立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。																																			
				エ	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。																																			
オ	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。																																							
カ	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。																																							
(2)	ア			特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。																																				
	イ			設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。																																				
	ウ		社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。																																					
	エ		設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。																																					
(1)	ア		文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。																		◎																			
	イ		文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。																																					
	ウ	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。																																						
	エ	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。																																						
	オ	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。																																						
	カ	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。																																						
	キ	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。																																						
	(2)	ア	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。																																					
イ		社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。																																						
ウ		学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。																																						
エ		同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。																																						
オ	関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。																																							
評価方法・評価材料				知	記述の点検	記述の点検	記述の点検	ペーパーテスト	記述の点検	ペーパーテスト	記述の点検	記述の点検	ペーパーテスト	記述の点検	記述の点検	ペーパーテスト																								
				思	記述の確認	記述の確認	記述の確認	ペーパーテスト	記述の確認	ペーパーテスト	記述の確認	記述の確認	ペーパーテスト	記述の確認	記述の確認	ペーパーテスト																								
				態	行動の確認	行動の確認	行動の確認	レポートの記述	行動の確認	レポートの記述	行動の確認	行動の確認	レポートの記述	行動の確認	行動の確認	レポートの記述																								

『表現探究』年間指導計画【3学年・理数科選択】

科目			単位数		指導学年		使用教科書	
表現探究			2 単位 (70時間)		第 3 学年 理数科		大修館書店『国語表現』	
担当者								
科目の目標			国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		生徒の実態と指導の重点		理数科選択 C 科目。少人数で手厚い指導を行いながら、文章力や表現力、思考力を伸ばしていけるよう指導する。	
学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
3 学年		4	2 伝える、伝え合う	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1) ア・エ	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5	レッスン 2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ	1	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1) エ・カ	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6	レッスン 3 絵や写真を見て書く	3	【思・判・表】 B (1) オ・カ	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	【知識・技能】 ・説明の順序や 5 W 1 H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7	レッスン 4 マイニュース記事を書こう	4	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B (1) ア	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
2 学期	9	3 小論文・レポート入門	レッスン 1 小論文とは何か	3	【思・判・表】 B (1) ア・イ	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン 2 反論を想定して書く	4	【思・判・表】 B (1) ア・イ・ウ	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン 3 文章を読み取って書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	5	【思・判・表】 B (1) イ・ウ	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン 4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】データを読む③／データを読む④	5	【思・判・表】 B (1) イ・エ	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン 5 発想を広げて書く	4	【思・判・表】 B (1) ア・イ	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン 6 レポートを書く	5	【思・判・表】 B (1) ア・オ B (2) イ	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
				レッスン7 論文を書くために	2	【思・判・表】 B (1) ア・オ	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			10	4 自己PRと面接	1	【知・技】 (1) ア 【思・判・表】 A (1) ア	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。〔(1) ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン2 効果的な自己PR	2	【思・判・表】 A (1) ア・ウ	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン3 将来の自分を考えよう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン4 志望理由を書こう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			11	レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	3	【知・技】 (1) イ 【思・判・表】 B (1) ア・エ B (2) ア	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			12	レッスン6 面接にチャレンジ	2	【知・技】 (1) イ 【思・判・表】 A (1) ア・エ A (2) ア	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		3 学期	1 2	レッスン7 グループディスカッションをしよう	2	【思・判・表】 A (1) カ・キ A (2) エ	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	【知識・技能】 ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。〔A (1) カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			■実践トレーニング②	2	【知・技】 (1) イ・ウ 【思・判・表】 A (1) エ	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	